

市町村民児協名	うるま市民生委員児童委員協議会											
会長名	藏當 博文		副会長名	上江洲すみこ、宮里清子 松田富雄、通事美穂子								
連絡先	〒904-2214 沖縄県うるま市安慶名一丁目8番1号(うるま市健康福祉センターうるみん2階) TEL 098-973-5459 FAX098-974-5306											
地区人口	125,570人		地区世帯数	55,333世帯	高齢化率	23.0%						
小学校数	18	中学校数	9	幼稚園数	5	こども園数	19 保育所数 80					
民生委員・児童委員定数		166名		主任児童委員定数	9名							
部会・委員会	広報委員会			主任児童委員会								
民児協規約	有・無・その他()											
民児協役員会開催日時	開催日 第4木曜日 時間帯(午前・午後・夜間)											

【地域の状況】

新型コロナウイルス感染症流行のなかでも、人と人が繋がり続けることが出来るよう工夫と努力を重ね、多くの民生委員児童委員の方々が直接会うことを控えた中、工夫し活動をされておりました。

令和4年度は、各地区の民生委員児童委員は、鯉のぼり掲揚式、各地区の総会が開催することが出来た年でした。

【主な活動(高齢者・障がい者・児童等)】

新型コロナウイルスにより、昨年度まで中止になっていた「民生委員の日」活動強化週間出発式、総会が3年ぶりに開催されました。

総会では、地域での困り事や今後の活動等についても活発な意見がありました。

○民生委員の日活動強化週間出発式

○うるま市民生委員児童委員協議会総会



【市町村民児協版 活動強化方策】

1. 常に地域住民の立場に立った活動
2. 地域共生社会の実現に向けた取り組み
3. 幅広い関係者、関係機関との連携・協働の取り組み
4. 子育て支援
5. 民生委員・児童委員の地域への周知と成り手募集のための広報活動

令和4年9月30日現在

市町村名	うるま市		単位民児協名	うるま市勝連民生委員児童委員協議会					
会長名	藏當 博文		副会長名	富村 盛人・天野 京子					
連絡先	<p>〒904-2312 うるま市勝連平安名3047(うるま市社会福祉協議会勝連支所) TEL 098-978-5914 FAX 098-978-1509</p>								
地区人口	12,765人		地区世帯数	5,771世帯		高齢化率	27.5%		
小学校数	3	中学校数	3	幼稚園数	1	こども園数	2	保育所数	7
民生委員・児童委員定数	23名			主任児童委員定数	2名				
部会・委員会	広報部会								
民児協規約	(有)・無・その他()								
民児協定例会開催日時	開催日 毎月第二月曜日 : 時間帯(午前・午後・夜間)								

【地域の状況】

勝連南風原地区は2000年に世界遺産登録された勝連城跡がある。この城の按司阿麻和利を主人公に脚色された現代版組踊り「肝高の阿麻和利」は地域の中高生が演じ次の中高生へ演技指導して引き継がれて現在に至る。地域内外で好評を得、ハワイでの公演も行われた。

2021年にはあまわりパークもオープンし、うるま市の観光の目玉となっている。

本島中部で唯一の有人離島、津堅島がある。

小学校区(自治区)ごとに定例会を持ち、情報の共有化に務めている。地域の結びつきは強く、依って助け合いも比較的強いように感じられる。

公共交通が一部地域しか通ってなく、高齢者の移動や買い物に不便を感じている事は一つの大きな課題である。

【主な活動(高齢者・障がい者・児童等)】

子供たちの健やかな成長を願って、こいのぼり掲揚

子供園や保育園、幼稚園にミニこいのぼりと飲み物お届け

子供たちの登下校の見守りとその後の独居老人の安否確認等

生活困窮者に対し物品の配布

高齢者の見守りを兼ねおにぎり等の配食



【単位民児協版 活動強化方策】

1. 独居老人の見守り
2. 生活困窮者、子育て世帯への支援

令和4年9月30日現在

市町村名	うるま市		単位 民児協名	与那城民生委員児童委員協議会						
会長名	松田 富雄		副会長名	宮里 亜矢子、森根 隆						
連絡先	〒904-2304 うるま市与那城屋慶名 1098 番地(与那城社会福祉センター) TEL 098-978-0011 FAX 098-978-8133									
地区人口	11,538人		地区世帯数	5,262名		高齢化率	29.9%			
小学校数	2	中学校数	3	幼稚園数	1	こども園数	1	保育所数		
民生委員・児童委員定数			25名	主任児童委員定数			2名			
部会・委員会										
民児協規約			(有)・無・その他()							
民児協定例会開催日時		開催日 毎月第2木曜日 : 時間帯(午前・午後・夜間)								

【地域の状況】

本地域は、うるま市の旧与那城町域で勝連半島の北半分(本島部)と太平洋に面した橋で繋がれた3つの島(島嶼部)からなり、海に面した風光明媚なところです。

島嶼部では、人口減少と少子高齢化が進み高齢化率(65歳以上)29.9%となり、地域行事や催事における担い手、伝統文化の継承者が減少しその保全が厳しくなると共に独居高齢者の増加などに課題があります。本島部では人口は増加傾向にあるが、反面、団地やアパートが増加し、自治会へ新規加入者の減少と生活の多様化により、「ゆいま～る精神」の希薄化、「地域コミュニティー」の繋がりが弱くなるなど、地域行事や伝統芸能の継承者の減少が見られ、自治会活動・運営に苦慮しています。

【主な活動(高齢者・障がい者・児童等)】

新型コロナウイルスの流行により、停滞しているが、幼児から一般、障がいをお持ちの方、高齢者まで多くの地域の皆さんの協力を得て、5月~6月(児童週間、母の日、父の日)のころに「お父さんお母さんありがとう」の集いを開催してきました。

会場入り口に保育園児が描いた「大好きな人の絵」を掲示し、「お父さんお母さんありがとう」の集いに参加される皆さんにご観覧もらっています。また、踊りや歌、寸劇など地域の皆さんが舞台に立ち、高齢者が戦後の貧しいなかで体験出来なかったウェディングドレス姿を披露するなど楽しく、和気あいあいとして、日ごろの「感謝の気持ち」を表す集いを行っています。

その他、鯉のぼり集会、夏休みの夜間パトロール、地域募金活動、広報の発刊(年1回)など



【単位民児協版 活動強化方策】

昨年からの取り組みとして、単位民児協内の各字の「良いところさがし」「課題さがし」を行い、「地域版活動強化方策の策定」に取り組む。

令和4年9月30日現在

市町村名	うるま市		単位民児協名		具志川東民生委員児童委員協議会						
会長名	上江洲すみ子		副会長名		兼城賢栄、島袋美江子						
連絡先	<p>〒904-2214 沖縄県うるま市安慶名1丁目8番1号 うるま市健康福祉センター(うるみん2階) うるま市社会福祉協議会地域福祉課地域係TEL098-973-5459 FAX098-974-5306</p>										
地区人口	38,837人	地区世帯数	16,673世帯	高齢化率	21,8%						
小学校数	5	中学校数	2	幼稚園数	5	こども園数	22 保育所数 2				
民生委員・児童委員定数	45名		主任児童委員定数	2名							
部会・委員会	母子・父子・児童部会		老人・身障部会	福祉資金部会		児童福祉部会					
民児協規約	(有)・無・その他()										
民児協定例会開催日時	開催日 7日(土日の場合、翌週月曜日) 時間帯(午前・午後・夜間)										

【地域の状況】

本地区は、市域の東側中央部を占め、市役所や健康福祉センター等の拠点施設が位置し、最も人口規模が大きい(市人口 30.9%)。地区内は、市街地とその周辺部には農地と宅地が混在し、一部米軍施設も見られます。地域共同体意識が比較的残っていますが、徐々にその意識の希薄化が伺えます。

また、人口が増加傾向にありますが、超高齢社会の年齢構造になっており、世帯当たり構成員の減少傾向が進み、高齢の単身世帯の増加が危惧されます。経済の低迷を背景にした困窮世帯の増加は、高齢者をはじめ、子ども達の貧困問題などの課題が重積しています。加えて、SNSの進展に伴う新たな犯罪の増加など、防犯面でも多様な対応が求められます。そのような中、私たちは地域の課題解決に応えるべく、自治会や小中学校との連携を大切にして活動を行っています。

【主な活動(高齢者・障がい者・児童等)】

新型コロナウィルス感染症拡大の影響により、例年のような活動は困難でしたが、感染防止対策のもとでのイベント開催や、個々の民生委員・児童委員の担当地区における取組が続けられていました。

市域的イベントでは「うるま市障がい者ふれあいグラウンドゴルフ大会」をはじめ、ひとり親家庭対象の「母と子の楽しい運動会」などを運営しました。地域においては、年末年始の「歳末義援金の配布」や「行事食の配布」を行い、また、自治会内の諸団体の活動支援「うるま市生きがい活動支援通所事業(地域型):ミニデイ」への協力、高齢者世帯訪問活動や草刈り作業、小中学校における交通安全活動、学校との定期的な情報交換会など、多様な活動がなされました。さらに、私たちメンバーのスキルアップのための研修会を定例会終了後に行ってきました。厳しい社会経済情勢が続く中、私たち民生委員・児童委員の責務が拡大しますが、ひとり一人の笑顔を糧に持続的活動に取り組みます。



歳末義援金の配布



毎朝の交通安全活動



障がい者ふれあいグラウンドゴルフ大会



母子中部地区「母と子の楽しい集い」

【単位民児協版 活動強化方策】

- 1.住民主体の地域共生社会づくり
- 2.子どもを見守り、子育て応援の地域づくり
- 3.災害に備えた地域づくり
- 4.人権を尊重した地域づくり
- 5.民生委員・児童委員制度の周知
- 6.THANKS 運動の推進

令和4年9月30日現在

市町村名	うるま市		単位民児協名	具志川西民生委員児童委員協議会									
会長名	宮里 清子		副会長名	照屋 聰、金城 喜代子									
連絡先	〒904-2214 うるま市安慶名 1-8-1 うるま市健康福祉センター(うるみん 2階) うるま市社会福祉協議会 地域福祉課 地域係 TEL 098-973-5459 FAX 098-974-5306												
地区人口	38,448人		地区世帯数	16,838世帯		高齢化率	19.56%						
小学校数	4	中学校数	2	幼稚園数	2	こども園数	7 保育所数 28						
民生委員・児童委員定数		42名		主任児童委員定数	2名								
部会・委員会	一人親児童部			児童福祉部		文化・広報部							
	老人・身障部												
民児協規約	(有)・無・その他()												
民児協定例会開催日時	開催日:毎月7日(土日の場合、翌週月) / 時間帯(午後2時)												

【地域の状況】

うるま市は、沖縄県本島中部の東海岸に位置し、本地域は、うるま市の中心から南西に位置、本島唯一の沖縄県立救急病院中部病院、市図書館、市民芸術劇場のある商業地域と、製糖工場がある農振地区とが混在する15自治会で、豊かな自然環境に恵まれた所です。

近年、大型商業施設が出来、マンション、アパート等が増え新商業地域と旧商業地域の格差が年々広がっています。

【主な活動(高齢者・障がい者・児童等)】

*高齢者:月に一回、地域の高齢者が集まるミニデイサービスの活動支援や独居高齢者宅の見守り活動をしています。また、週一回の健康体操の促進に努め、毎週日曜日は高齢者の方達と一緒に、毎週水曜日にカラオケ会を行い、地域との交流に取り組んでいます。

*障がい者:市内ディサービス施設訪問及び課外活動支援のお手伝いを行い、関係機関の協力で「発達障がいの理解と支援」の勉強会を行っています。

*児童福祉:小学校の通学路要所の交通安全見守り、児童福祉週間、民生委員児童委員活動強化週間に各小学校で「朝のあいさつ運動」を行い民生委員児童委員のPRに努めています。又「なかきす児童センター」において、子どもたちへ毎週土曜日と夏休み、冬休み期間に子ども食堂でのボランティア活動を行っています。

*主任児童委員:小学校4校、中学校2校との定期情報交換及び民生委員児童委員との連携活動、児童センター訪問を行っています。



←ミニデイ
活動支援



全体研修→

各地域での
交通安全
指導→→



【単位民児協版 活動強化方策】

1. 高齢者世帯・一人親世帯・障がい者・子どもたちの見守り活動支援
2. 地域の自治会・小学校・中学校との連携強化
3. 自己のスキルアップ研修会・交流会の継続

令和4年9月30日現在

市町村名	うるま市		単位民児協名	石川地区民生委員児童委員協議会										
会長名	通事 美穂子		副会長名	平良 重貞、佐次田予志子										
連絡先	<p>〒904-1192 沖縄県うるま市石川石崎1-1 TEL 098-964-2494 FAX 098-964-4747</p>													
地区人口	24,235人		地区世帯数	11,426世帯		高齢化率	19,1%							
小学校数	3	中学校数	2	幼稚園数	3	こども園数	3 保育所数 14							
民生委員・児童委員定数		37名		主任児童委員定数		2名								
部会・委員会	児童福祉部会		高齢者福祉部会		広報部会									
民児協規約	(有)・無・その他()													
民児協定例会開催日時	開催日 每月第二火曜日 : 時間帯(午前・午後・夜間)													

【地域の状況】

沖縄本島中央部のくびれ部分に位置していることから「みほその町」と呼ばれ、戦後沖縄の政治、経済、教育、文化の発祥地である。平成17年に具志川市、勝連町、与那城町と合併、うるま市となった。15地区の自治会があり、景観的には市街地東方に砂地の海浜、北方に石川岳がそびえ、闘牛の町としても知られており、緑豊かな自然が広がる地域である。

【主な活動(高齢者・障がい者・児童等)】

自治会や関係団体・機関と連携しながら「住民ニーズに沿った住民目線の活動」をモットーとし日常的に、自治会単位で地域の個別相談や訪問活動を行っている。毎月一回の定例会は、委員の情報共有や意見交換、研修の場として開催。委員研修は事例検討会や講師を招聘しての講話などを毎年2~3回計画している。

(1)児童福祉部会の主な活動

朝のあいさつ運動・交通安全指導 児童生徒の学習支援活動 園児とのこいのぼり掲揚式
地域の遊び場・遊具点検 委員と学校職員との連絡会の開催 新1年生の児童館への送迎等

(2)高齢者福祉部会の主な活動

施設用おむつ裁断 敬老会・独居老人友愛訪問 ミニデイサービスでの補助・健康チェック等

(3)広報部会の主な活動

民児協だよりの発行 諸行事・諸活動の写真撮影 広報活動等



遊び場の安全点検



学校との連絡会



おむつ裁断

【単位民児協版 活動強化方策】

1. 地域に根ざし、住民ニーズに即応した福祉援助活動の推進
2. 関係機関との連携を密にし、地域における子育て支援並びに児童生徒の見守り活動の強化
3. 児童生徒の交通安全指導及びあいさつ運動の継続実施

令和4年9月30日現在